



唐獅子(中之浜地区)



五つ鹿(川永田地区)



佐田岬半島ミュージアム  
SADAMISAKI HANTO MUSEUM

## 目次 -Contents-

- P 2 6月定例会の動き
- P 4 一般質問
- P 6 第60回臨時会報告
- P 7 委員会(協議会)報告
- P 8 議長の動き

第73回定例会が開催され、報告5件、専決予算1件、条例5件、補正予算4件、請負契約7件、発議1件、その他11件は、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

【主な決定事項】

報告

町長の専決処分事項報告

議決が必要な事項のうち、軽易な事項は予め町長の権利で執行し、事項の施行結果を報告。  
住宅破損事故を報告。

令和4年度伊方町一般会計継続費繰越計算書について

翌年度繰越額 8,706,000円 亀ヶ池温泉再建事業

令和4年度伊方町一般会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額 509,064,800円 生活応援マイナ普及事業 他24事業

令和4年度伊方町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額 20,000,000円 仁田之浜マンホールポンプ等更新事業 他1事業

令和4年度伊方町一般会計事故繰越し繰越計算書について

翌年度繰越額 382,794,740円 伊方町観光施設トイレ改修事業（瀬戸地域）他2事業

専決予算

町長の専決処分事項報告（令和5年度伊方町一般会計補正予算（第2号））

補正額 79,159千円 補正後の額 11,037,567千円

条例

伊方町再生可能エネルギー発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の一部を改正する条例制定

再生可能エネルギー発電事業が生活環境、景観その他自然環境に及ぼす影響を鑑み、事業者による再生可能エネルギー発電施設の設置及び管理について基本的かつ必要な事項について、災害の発生を防止し町民の生命及び財産の保護を図るとともに、良好な生活環境と自然環境を保全するための改正。

伊方町温泉施設条例の一部を改正する条例制定

伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉の宿泊定員数を旅館業法及び同法施行令の規定に基づき設定するための一部改正。

伊方町集会所条例の一部を改正する条例制定

松之浜集会所の解体撤去に伴う一部改正。

伊方町障がい者グループホーム条例制定

障がい者に対して生活の場を提供し、障がい者の社会参加及び自立を促進し、福祉の増進を図るための制定。

伊方町不当要求行為等対策条例制定

町の事務事業に係る不当な要求行為又は暴力的行為に対し、組織として毅然と対処するとともに、それらを未然に防止するための組織的な体制を整備し、もって公正な職務の遂行を確保するための制定。

討論あり 賛成：10名 反対：2名 賛成多数で可決

補正予算

（単位：千円）

| 会計名                                 | 補正額            | 補正後                  |
|-------------------------------------|----------------|----------------------|
| 一般会計補正予算（第3号）                       | 690,533        | 11,728,100           |
| 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）事業勘定<br>直営診療施設勘定 | 815<br>△29,422 | 1,760,202<br>434,127 |
| 後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）              | △560           | 185,603              |
| 介護保険特別会計補正予算（第4号）介護サービス事業勘定         | 249            | 17,038               |

## 請負契約

### 亀ヶ池温泉貯湯槽給排水設備改修工事請負契約の締結

契約金額 82,500,000円 契約の相手方 四電エンジニアリング株式会社

### 茅トンネル他照明設備更新工事請負契約の締結

契約金額 106,700,000円 契約の相手方 伊方電気工事株式会社

### 川之浜地区法面対策工事請負契約の締結

契約金額 53,240,000円 契約の相手方 藤川建設有限会社

### 残土置き場造成工事請負契約の締結

契約金額 84,920,000円 契約の相手方 有限会社堀保組

### 町道宇和海線道路改良工事（6工区）請負契約の締結

契約金額 78,430,000円 契約の相手方 藤川建設有限会社

### 町道三崎地区内1号線道路新設工事請負契約の締結

契約金額 92,620,000円 契約の相手方 有限会社三崎建設

### 障がい者グループホーム新築工事（建築）請負契約の締結

契約金額 122,452,000円 契約の相手方 堀田建設株式会社伊方支店



障がい者グループホーム  
完成イメージ図

場所：伊方町川永田

## 発議

### 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める意見書の提出について

2023年10月から始まる適格請求書等保存方式（インボイス制度）において、中小零細事業者の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のために、政府へ制度導入の延期・見直しを求める。

## 財産の無償貸付

### 財産の無償貸付（2件）

|     |            |    |     |        |          |
|-----|------------|----|-----|--------|----------|
| 所在地 | 湊浦字白崎1番地15 | 地目 | 雑種地 | 貸付の相手方 | 株式会社エムケー |
| 所在地 | 塩成2300番地3  | 地目 | 宅地  | 貸付の相手方 | 株式会社風車   |

## その他

### 三崎製氷施設の指定管理者の指定

施設の名称 三崎製氷施設 施設の所在地 串78番地  
指定管理者 愛媛県漁業協同組合 指定期間 令和5年7月1日～令和7年3月31日

### 三崎種苗生産施設の指定管理者の指定

施設の名称 三崎種苗生産施設 施設の所在地 正野180番地  
指定管理者 愛媛県漁業協同組合 指定期間 令和5年7月1日～令和9年3月31日

### 伊方町獣肉処理加工施設の指定管理者の指定

施設の名称 伊方町獣肉処理加工施設 施設の所在地 河内749番地1  
指定管理者 合同会社旅するジビエちゃん 指定期間 令和6年1月1日～令和10年3月31日

### 公有水面埋立の意見答申について

川永田字西崎甲1番6に接する道路から川永田字大星甲1593番1に接する堤の地先公有水面の埋立  
埋立面積 574.64平方メートル

### 議会運営委員会の閉会中の継続調査

原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査

### 議会改革特別委員会の閉会中の継続調査

亀ヶ池温泉対策特別委員会の閉会中の継続調査

### 公共施設環境改善対策特別委員会の閉会中の継続調査

# 一般質問



田村 義孝 議員

質問の全文は、QRコードを読み込んで、確認できます。



## 大綱1 三崎高校の寮の食事について

### 問

現在、寄宿舎の朝食、夕食は入札で落札した業者さんが提供している。と認識している。

一、どういものが、どのような状態で提供されているか検査やチェックをどのように把握し、対応をしているか。

二、県立高校の県営寄宿舎で野村高校の緑ヶ丘寮が食事担当職員として二名（県雇用一人、地元雇用一人）している状況がある。速水寮は県の寄宿舎で定員も多いので食事担当職員を県の支援で雇用し、町でも雇用する。町の学校給食の管理栄養士が連携して献立も作る。栄養管理もされた食事が提供されるならば、生徒や保護者の満足や安心感にもつながり、三崎高校へ来ていただく際のひとつの売りにもなると思うが、とりくむお考えがどうか。

### 答

検査については、事業者が事前に行っている。また、三崎高校の教諭が交代で県営寄宿舎の舎監をし、毎日寮生と同じ食事を食べており、その感想等を伺うようにしている。

本年度、食事提供の事業者が変わった

こともあり、開始一週間の食事提供の観察を行い、不定期に職員が寮に出向き実際の料理、調理作業、寮の生徒の皆さんの食事の様子を確認している。

また、毎週の献立メニューの提出を求めており、指導の必要がある点については、随時行うことにしている。五月に食事提供一カ月後の寮生全員に対する調査を行い、主な課題についても改善を求めている。

次に、未咲輝寮の運営開始にあたって、調理員を雇う事も検討したが、最終的に委託業務として、外部発注する事とした。これまで二年余りの運営の中で、現在のところ大きな問題は起こっていない。

他校の事例で、県内の県立高等学校の県営寄宿舎で県雇用の食事担当職員を配置しているのは当該校のみと聞いている。県雇用の食事担当職員については、県営寄宿舎の食事対応を行う事が基本。また、県営寄宿舎の経営については三崎高校や県教育委員会の考えがあり、県営寄宿舎と町営寄宿舎が併存する三崎高校に当てはめるのは難しいと思われる。

議員のご提案については、選択肢の一つとして、今後の検討材料とする。

町外から来られた三崎高校の生徒の皆さんの寮生活の基盤である食の充実を図り、この伊方町での高校生活が、より良いものとなるよう努めていきたいと考えている。

（教育長）

### 問

伊方町学校再編検討委員会検討事項報告によると、令和八年度を

目に九町小学校は伊方小学校へ、令和九年度を目標に三机小学校、大久小学校は両校あわせて三崎小学校へ、また令和十年度には瀬戸中学校を三崎中学校と統合することが望ましいとの報告がなされた。

その場合、瀬戸地区から小学校、中学校が失われる。学校がなくなつた場合の地域の活力の低下は身に染みて感じている。町では本年度、人口減少対策として移住者を増やすため「保育園留學事業」を行うこととなっている。

この機会をきっかけに、保育所を入口として三崎高校まで通っていただけ状況をつくれなにかと考えている。

瀬戸地区において空いた校舎を活用しつつ、三崎高校で得た学校魅力化のノウハウも生かしながら、体験学習により基礎学習能力も向上する、町全体をフィールドとし、地域の課題を抽出し、課題解決に取り組むことで生きる力を育む、自分の頭で考え行動できる「独立自尊」の精神をそなえた人材育成を新しい公教育の学校としておこなうべきと考える。

保育所、小学校、中学校、高校と伊方モデルというべき背骨の一本通つた一貫校的な魅力的な教育体制ができれば長い

## 大綱2 魅力的で全国から選ばれる小中学校づくりについて

間、伊方町に家族で滞在していただくと考える。

このような取り組みをするお考えがな  
いか。

町では、人口減少対策重点戦略を  
踏まえ、私をトップとする戦略会議

を立ち上げ、「健康長寿のまち」「子育て  
支援のまち」「デジタルライフのまち」を  
目指すべき将来像と定め、全国から選ば  
れる伊方町を目指した取り組みを積極的  
に進めている。

重点戦略におきまして、主たるターゲッ  
トの「子育て世代、特に女性の人口を増  
やす」、また、サブターゲットの「アク  
ティブシニアと若年層を増やす」ために  
は、産業・雇用の創出と住宅の確保のほ  
か、教育環境の充実が極めて重要と考え  
ている。

具体的な施策として、今年度新たに実  
施する保育園留学や給食費補助を始めと  
した子育て支援の充実を図るとともに、  
顔認証を使った高齢者福祉対策や町有財  
産を活用した創業支援、集合住宅の建設  
等に対する支援を行っている。

今後とも、教育の充実を含め、人口減  
少対策に全庁を上げて取り組み、未来を  
担う人材の育成に努めてまいりたい。

(町長)

答

児童生徒の教育環境を最優先に考  
えた結果、伊方町学校再編検討委員  
会の検討結果報告を基にした「伊方町学  
校再編計画案」が現状では最良であると  
判断している。

議員のご提案については、夢のあるプ  
ランであると思う。同様のプランを他県  
教育委員会が、以前から実施しているが  
受け入れ数も多くな、定住については  
まだまだ難しい。

保育所・小学校・中学校・高等学校の  
一貫校の実現するためには、相当な検  
討期間、費用、そして何より関係者の十  
分な理解と協力を得る事が必要であり、  
かなり難しい。

教育委員会としても、町にある学校な  
どの施設間の連携を、今後さらに強化し  
ていく。

これから行う保護者説明会、住民説明  
会、そして議会やパブリックコメント等  
でも、様々なご意見をいただけるものと  
思っている。

それらの貴重な意見を参考に、子ども  
を第一とした、子どもたちにとってより  
良い教育環境が実現できる「学校再編計  
画」となるよう努力してまいります。

(教育長)



清家 慎太郎 議員

## 大綱1 伊方町の観光事業の取り組み について

質問の全文は、  
QRコードを読み込  
んで、確認  
できます。



問

四国最西端、海と山に囲まれ数多  
くの観光資源を有する伊方町。自然  
観光資源として佐田岬灯台、伽藍山、瀬  
戸頂上線等。観光関連施設として佐田岬  
はなはな、だんだん、きらら館。そして  
食事や自然環境が魅力の宿泊施設。今後  
ミュージアムと亀ヶ池温泉が加わること  
になる。

まだ磨き上げの必要なものもあるが、  
それぞれが大きな魅力を持つ観光資源で  
あり、今後の町が力を注いで取り組むべ  
きはこれらの観光資源をいかにPRし、  
いかに組み合わせるかを線に、また線を  
紡いで面にするか、という事だと考える。

行政と連携し、その役割を担う団体  
として一般社団法人佐田岬観光公社が  
二〇二二年十月に地域DMOの登録を受け  
た。点を線に、線を面に、また体験型や地  
域資源を生かした商品開発や磨き上げなど  
大変大きな役割を期待されている団体。

町と佐田岬観光公社との現在の連携の  
状況と今後の取り組みについて伺う。

## 一般質問

【答】

文化交流の拠点として「佐田岬半島ミュージアム」が開館し、「佐田岬亀ヶ池温泉」が来春に本格開業すると、観光交流拠点の「佐田岬はなはな」やエネルギー情報発信拠点の「きらら館」など、特色ある観光関連施設が充実することから、今後は食事や宿泊、自然・文化を楽しむ体験プログラム、交通手段等を整備し、周遊・滞在型の観光地づくりを行い、観光客や観光消費額の増加につなげていくことが重要であると認識している。

町では、昨年度「伊方町観光振興計画」を策定し、ターゲットや評価指標ごとの数値目標などを定めるとともに、その推進体制を担う町と佐田岬観光公社、観光事業者や住民の役割分担を明確にして、戦略的に観光振興を推進することとしている。

佐田岬観光公社は、主に観光関係者の合意形成、旅行商品の造成と販売、観光データの収集・分析や観光案内所の運営などを担当。職員は非常勤の事務局長と賑わい創出事業担当、常勤の事務局次長と経理総務担当の四名で、そのほか観光案内所にパート三名、マルシェ・物販に協力者一名、体験ツアーガイド四名で運営されている。

町は主に観光施策の企画立案や進行管理、予算の確保、観光関連施設等の整備及び人材育成をはじめ、県や関係自治体との連携施策・事業などを担当しており、

佐田岬観光公社と連携しながら、豊かな地域資源を活かした観光まちづくりに取り組んでいる。

誘客面では、目玉商品のクルーズ体験ツアーが、九月・十月に催行される予定。

またインバウンドの推進を図るため、東南アジア諸国に支店を有する旅行会社から専門人材を受け入れ、外国人の誘客にも努める。

今後の取り組みは「海と風のマルシェ」を十二月まで毎月開催し、都市部マルシェを大阪・東京で実施するほか、クルーズやサイクリング、キャンプ、佐田岬トレイル（自然の中を歩く道）、岬織りや藍染めなどの体験プログラムを充実させ、旅行会社と連携した旅行商品の造成と販売に結び付けるとともに、三崎高校生との特産品開発にも取り組む。

また佐田岬観光をテーマとした旅番組の制作、観光レンタカーの運営を始めた。

さらに観光客等の移動データを収集・分析する仕組みづくりを進め、データを踏まえた観光戦略を策定。

今後とも、伊方町観光振興計画に基づき、佐田岬観光公社と連携して、観光振興に関する施策・事業を戦略的に推進し、佐田岬観光の魅力向上と発信に努め、国内外からの誘客につなげることに、地域経済の活性化を図っていききたい。

（町長）

## 第60回臨時会報告

令和5年7月27日

臨時会が開催され、上程された議案は、原案のとおり可決されました。

### 伊方町防災センター条例の一部を改正する条例制定

佐田岬防災センターの設置に伴う一部改正。

### 伊方町在宅高齢者共同生活支援施設条例の一部を改正する条例制定

瀬戸在宅高齢者共同生活支援施設の1ユニット増床に伴う一部改正。

### 令和5年度伊方町一般会計補正予算（第4号）

補正額 18,568千円 補正後の額 11,728,254千円

### 伊方町佐田岬防災センター新築工事（建築工事）請負契約の変更締結

契約の相手方 堀田建設株式会社伊方支店

変更前 264,000,000円 → 変更後 268,531,000円

変更理由 事業量変更による増額

### 瀬戸在宅高齢者共同生活支援施設建築工事請負契約の締結

契約金額 99,220,000円 契約の相手方 有限会社宇都宮組

### 使用済樹脂貯蔵タンクの増設の妥当性

原子力発電対策特別委員会の調査結果を報告。

## 委員会(協議会)報告

| 月 日   | 委員会(協議会) | 概 要  |
|-------|----------|--|
| 5月25日 | 議 員 全 員  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度伊方町一般会計補正予算(第2号)概要</li> <li>2. 物価高騰臨時特別支援事業・子育て世帯生活支援特別給付事業について</li> <li>3. 新型コロナウイルスワクチン接種(オミクロン株対応)について</li> <li>4. 町有施設の有効活用に関する提案状況について</li> <li>5. 移住・定住支援センターの開設について</li> <li>6. 伊方町における地域医療のあり方について</li> <li>7. 瀬戸アグリトピア施設整備構想について</li> <li>8. 亀ヶ池温泉再建寄附金の使途について</li> <li>9. 伊方町文化交流施設佐田岬半島ミュージアム整備事業の進捗状況について</li> </ol>  |
| 6月6日  | 議 会 運 営  | 第73回定例会の運営について   |
| 6月14日 | 議 員 全 員  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海岸漂着物再資源化機器の導入について</li> <li>2. 障がい者グループホーム新築工事(建築)請負契約の締結について</li> <li>3. 伊方町障がい者グループホーム指定管理者の募集について</li> <li>4. 伊方町第9期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画について</li> <li>5. 伊方町認知症対応型グループホームの整備について</li> <li>6. 指定管理者の指定について<br/>・三崎製氷施設 ・三崎種苗生産施設 ・伊方町獣肉処理加工施設</li> <li>7. 伊方町観光商工課への専門人材の受入について</li> <li>8. 茅トンネル他照明設備更新工事請負契約の締結について</li> <li>9. 川の浜地区法面对策工事請負契約の締結について</li> <li>10. 残土置き場造成工事請負契約の締結について</li> <li>11. 町道宇和海線道路新設工事(6工区)請負契約の締結について</li> <li>12. 町道三崎地区内1号線道路新築工事請負契約の締結について</li> <li>13. 公有水面埋立の意見答申について</li> <li>14. 伊方町学校再編計画(第二次)案について</li> <li>15. 条例の制定等について</li> <li>16. 令和4年度伊方町一般会計等繰越計算書の調製について</li> <li>17. 令和5年度伊方町一般会計補正予算(第3号)概要</li> </ol> |
|       | 亀ヶ池温泉対策  | 亀ヶ池温泉の状況報告について   |
| 6月19日 | 議 員 改 革  | 議員のなり手不足への対応について   |
|       | 議 会 運 営  | 第73回定例会の運営について   |
| 6月23日 | 議 員 全 員  | 財産の無償貸付について  |
|       | 原子力発電対策  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊方発電所3号機使用済樹脂タンクの増設について</li> <li>2. 伊方発電所の状況について</li> </ol>  |
| 7月14日 | 原子力発電対策  | 伊方発電所3号機使用済樹脂貯蔵タンクの増設について  |
| 7月19日 | 議 会 運 営  | 第60回臨時会の運営について   |
| 7月27日 | 亀ヶ池温泉対策  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温浴棟天井補強他工事について</li> <li>2. 再建寄附金の使途について</li> </ol>   |
|       | 議 員 全 員  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 条例の制定等について</li> <li>2. 伊方町佐田岬防災センター新築工事(建築工事)請負契約の変更締結について</li> <li>3. 瀬戸在宅高齢者共同生活支援施設建築工事請負契約の締結について</li> <li>4. 令和5年度伊方町一般会計補正予算(第4号)概要</li> <li>5. 令和3年度決算に係る統一的な基準による財務書類の公表について</li> </ol>  |

# 原子力発電対策特別委員会 現地視察(6月23日)



## 議長の動き (主な内容)

- 4月25日 愛媛県人権対策協議会・第63回定期大会 (松山市)
- 5月11日 第1回伊方町区長会
- 5月21日 ライオンズ45周年記念大会
- 5月23日～24日 町村議長・副議長研修会 (東京都)
- 5月27日 第6回はなはなまつり
- 5月28日 第26回きららまつり
- 6月7日 町人権教育協議会・人権対策協議会総会
- 6月9日 町老人クラブ総会
- 6月11日 伊方スポレク祭2023
- 7月12日～13日 四国地区人権教育研究大会 (徳島県)
- 7月21日～22日 全国原子力発電立地市町村議会議長会役員会及び総会 (東京都)
- 7月25日 県後期高齢者医療広域連合会議会第2回臨時会 (松山市)
- 7月29日 きなはいや伊方まつり2023
- 8月1日 伊方原子力発電所環境安全管理委員会 (松山市)
- 8月4日 県町村議会議長会第1回議員研修 (松山市)
- 8月5日 「佐田岬半島ミュージアム」オープニングセレモニー
- 8月8日 伊方地区忠霊塔戦没者慰霊祭
- 8月15日 県戦没者追悼式 (松山市)



第6回はなはなまつり



第26回きららまつり



きなはいや伊方まつり2023

